# 令和2年度 松川町上下水道事業経営審議会 資料

## 一 水道事業 一

1.松川町上水道事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.1
2.松川町上水道事業の経営状況	
① 給水人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.3
② 企業債元利償還予定額と現在高の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.5
<ul><li>③ 水道事業会計の実績と今後の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	P.6

令和3年1月

環境水道課水道管理係

### 松川町上水道事業の概要

1. 給水地区(町内全域) 竜西地区全域・福与部奈地区・峠地区・生東地区

#### 2. 経過

①事業

昭和40年代

中央簡易水道・上片桐簡易水道供用開始

昭和52年

福沢簡易水道供用開始

昭和63年

福沢簡易水道拡張による部奈地区供用開始

峠簡易水道供用開始

平成元年

簡易水道統合整備事業により名子地区北側地域及び上大島地区供用開始 片桐ダム取水始まる

中央簡易水道・上片桐簡易水道を統合し、松川町上水道となる。

平成7年

生東簡易水道供用開始

平成26年

上水道竜西地区と福沢簡易水道宮ヶ瀬添架配水管にて統合。

寺沢送水ポンプ場供用開始

4月より上水道と簡易水道の経営統合。松川町上水道に一本化された。

#### ②会計制度

上水道となった平成元年より官公庁会計から公営企業会計へ変更。

③資産総額(令和2年3月31日現在)

3,434,902千円

(内訳) 固定資産 3,023,321千円(帳簿価格6,089,356千円) 流動資産 411,581千円

- ④職員数 上水道業務従事職員5名
- ⑤料金について

昭和54年 料金改定 改定率 13.5%

昭和60年 料金改定 改定率 26.3%

平成 元年 料金改定 改定率 18.4% 消費税導入(3%)

平成 4年 料金改定 改定率 10.4%

平成 9年 消費税 (3%→5%) 内税表示を外税表示に変更。 下水道料金と一括徴収開始。

平成10年 量水器使用料改定

平成26年 消費税 (5%→8%)

令和 元年 消費税 (8%→10%)

※現行料金は別紙のとおり

## 〇近隣町村の水道料金比較表 (消費税抜き)

		,			##					 径				超過(従	量)料金	口径13mm	の使用料	金(月額)
市町村名	実 施 年月日	14   系	検針 税		基本 水量	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	m³	円/m³	10 m³	20 m³	30 m³
	177.	<i>"</i>	忧													使用	使用	使用
松川町	H10.4.1	その	外 税	基本料金	8	1,399	1,399	1,399	1,399	1,399	1,399	1,399		9~20 21~30 31~40 41~100	166 175 185 195	1,781	3,441	5,191
1471141	1110.4.1	他	毎 月	メーター 使用料		50	80	91	137	155	559	1,354		101~200 201~	204 214	1,701	0,441	0,101
飯田市	H26.4.1	口径別	内税	基本料金	8 25mm 以下限定	1,015	1,330	1,895		4,571	7,034	16,900	28,600	9~20 21~	141 154	1,297	2,707	4,247
数四川	1120.4.1	別	隔 月	メーター 使用料		_	_	_		_	_	_	_			1,237	2,707	7,277
高森町	H26.4.1	口径別	内税	基本料金	8	1,267	1,776	2,257		5,724	8,100	20,552	30,229	9~30 31~50 51~100 101~	181 190 200 210	1,700	3,510	5,320
	1120.4.1	別	毎 月	メーター 使用料		71	133	152		295	1,129	2,138	2,500			1,700	3,310	0,020
       喬木村	H27.4.1	口径別	内税	基本料金	8	1,380	2,710	4,100	5,980	8,200	13,600			9~30 31~100 101~	153 180 210	1,686	3,216	4,746
同小门	1127.4.1	別	毎月	メーター 使用料		_	_	_	_	_	_					1,000	0,210	4,740
豊丘村	R1.10.1	口径別	外税	基本料金	8	1,300	2,500	3,100	3,700	4,400	6,100			9~30 31~100 101~	150 170 190	1,572	3,200	4,700
- 安山竹   	K1.10.1	別	隔月	メーター 使用料		_	_	_	_	_	_					1,072	5,200	7,700
大鹿村	H29.10.31	口径別	内税	基本料金	8	1,500	2,000	2,200	6,000	9,000	14,000			9~	153	1,902	2,492	4,856
八庇竹	1129.10.31	別	毎月	メーター 使用料		80	170	240	320	530	1,200					1,302	2,492	4,000

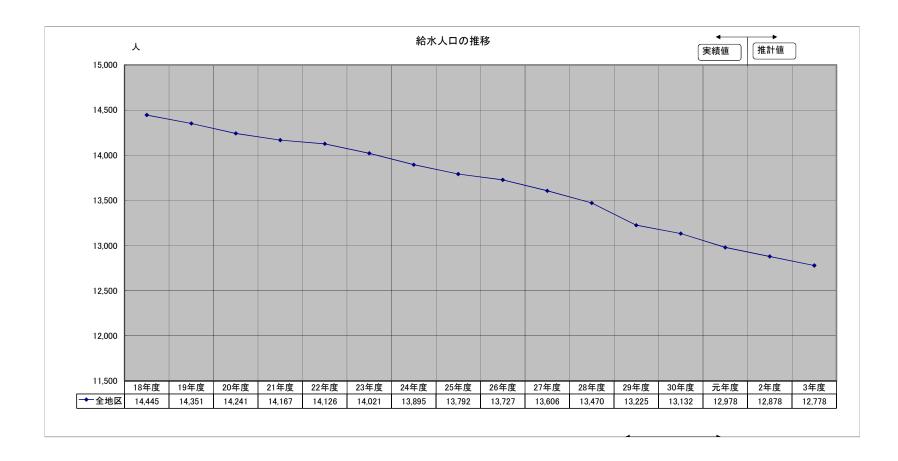
## ①給水人口の推移

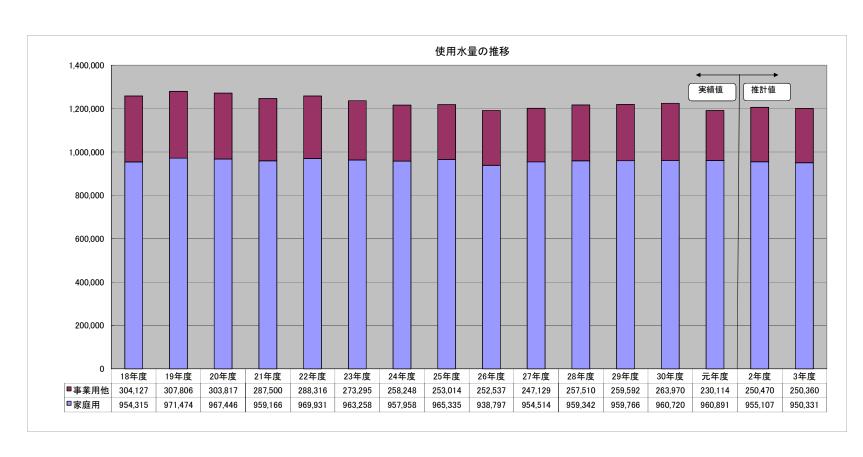
前年度対比(増減)

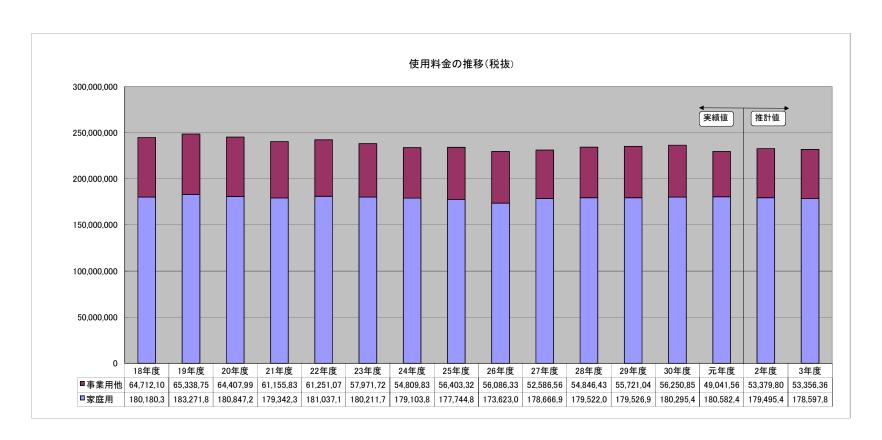
単位:人

給水人口	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
全地区	14,445	14,351	14,241	14,167	14,126	14,021	13,895	13,792	13,727	13,606	13,470	13,225	13,132	12,978	12,878	12,778
使用水量の	推移														単位 : ㎡	単位:m <sup>ª</sup>
水量	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
家庭用	954,315	971,474	967,446	959,166	969,931	963,258	957,958	965,335	938,797	954,514	959,342	959,766	960,720	960,891	955,107	950,331
事業用他	304,127	307,806	303,817	287,500	288,316	273,295	258,248	253,014	252,537	247,129	257,510	259,592	263,970	230,114	250,470	250,360
合 計	1,258,442	1,279,280	1,271,263	1,246,666	1,258,247	1,236,553	1,216,206	1,218,349	1,191,334	1,201,643	1,216,852	1,219,358	1,224,690	1,191,005	1,205,577	1,200,691
使用料金の	推移													-	単位:円	単位:円
料金	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
家庭用	180,180,338	183,271,801	180,847,267	179,342,392	181,037,120	180,211,770	179,103,845	177,744,840	173,623,025	178,666,964	179,522,052	179,526,901	180,295,471	180,582,402	179,495,402	178,597,838
事業用他	64,712,107	65,338,750	64,407,998	61,155,839	61,251,079	57,971,722	54,809,832	56,403,321	56,086,330	52,586,563	54,846,432	55,721,043	56,250,853	49,041,564	53,379,805	53,356,362
合計	244,892,445	248,610,551	245,255,265	240,498,231	242,288,199	238,183,492	233,913,677	234,148,161	229,709,355	231,253,527	234,368,484	235,247,944	236,546,324	229,623,966	232,875,207	231,954,200

3,718,106  $\triangle$  3,355,286  $\triangle$  4,757,034 1,789,968  $\triangle$  4,104,707  $\triangle$  4,269,815 234,484  $\triangle$  4,438,806 1,544,172 3,114,957 879,460 1,298,380  $\triangle$  6,922,358 3,251,241  $\triangle$  921,007





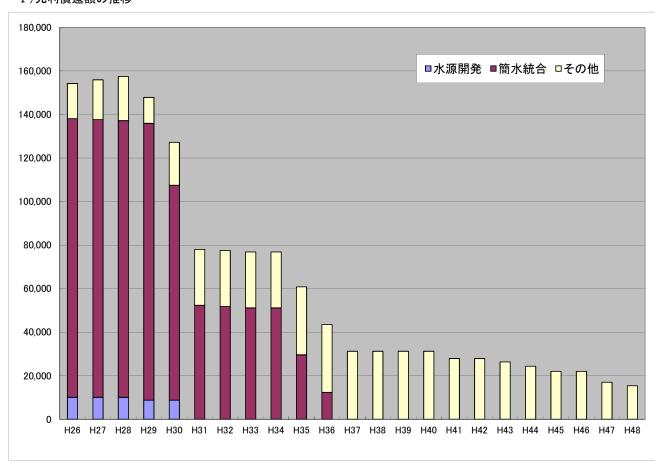


#### ②企業債元利償還予定額と現在高の推移

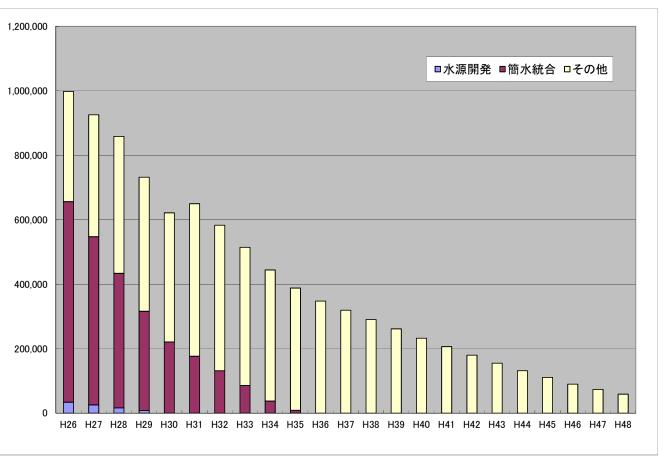
単位:千円

	[	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	5和14年度	令和15年度	令和16年度令	和17年度	- 令和18年度
水源開発	元利償還額	10,021	10,021	10,021	8,752	8,751																		
7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	現在高	33,865	25,388	16,493	8,444	0																		
簡水統合	元利償還額	128,049	127,597	127,145	127,145	98,739	52,338	51,736	51,133	51,133	29,589	12,322												
ם שלוף נינפו	現在高	622,179	521,976	417,194	307,622	220,592	176,666	131,612	85,363	37,243	8,955	0												
その他	元利償還額	16,168	18,276	20,256	11,915	19,697	25,637	25,729	25,731	25,731	31,215	31,215	31,215	31,215	31,215	31,215	27,933	27,933	26,315	24,325	21,998	21,998	16,948	15,364
ا الاس	現在高	341,902	378,242	424,895	416,113	400,619	473,015	451,190	429,140	406,863	378,871	347,657	319,185	290,470	261,507	232,295	206,124	179,750	154,794	131,652	110,687	89,591	73,417	58,730
元利償	還額計	154,238	155,894	157,422	147,812	127,187	77,975	77,465	76,864	76,864	60,804	43,537	31,215	31,215	31,215	31,215	27,933	27,933	26,315	24,325	21,998	21,998	16,948	15,364
現在	高計	997,946	925,606	858,582	732,179	621,211	649,681	582,802	514,503	444,106	387,826	347,657	319,185	290,470	261,507	232,295	206,124	179,750	154,794	131,652	110,687	89,591	73,417	58,730

#### I)元利償還額の推移



### Ⅱ)償還金残高の推移



推計根拠  成少傾向  の入負担金減少  の新規加入の減少  成少傾向  金繰出基準による (企業債償還利息と児童手当)  会も現在の金利による  、H30年度から5名。  ペンプ場稼動により増加  横ばい  の、ほぼ横ばいで予想
成少傾向  「入負担金減少 」の新規加入の減少 成少傾向  金繰出基準による (企業債償還利息と児童手当) 会も現在の金利による  、H30年度から5名。  ペンプ場稼動により増加  横ばい
四入負担金減少 の新規加入の減少 減少傾向 金繰出基準による (企業債償還利息と児童手当) 後も現在の金利による 、H30年度から5名。 ペンプ場稼動により増加 横ばい
四入負担金減少 の新規加入の減少 減少傾向 金繰出基準による (企業債償還利息と児童手当) 後も現在の金利による 、H30年度から5名。 ペンプ場稼動により増加 横ばい
の新規加入の減少 成少傾向 金繰出基準による (企業債償還利息と児童手当) 会も現在の金利による 、H30年度から5名。 ペンプ場稼動により増加 横ばい
は少傾向 金繰出基準による (企業債償還利息と児童手当) をも現在の金利による 、H30年度から5名。 ペンプ場稼動により増加 横ばい
<ul><li>会も現在の金利による</li><li>、H30年度から5名。</li><li>ポンプ場稼動により増加 横ばい</li></ul>
<ul><li>会も現在の金利による</li><li>、H30年度から5名。</li><li>ポンプ場稼動により増加 横ばい</li></ul>
、H30年度から5名。 ペンプ場稼動により増加 横ばい
ポンプ場稼動により増加 横ばい
ポンプ場稼動により増加 横ばい
ポンプ場稼動により増加 横ばい
ポンプ場稼動により増加 横ばい
横ばい
横ばい
)、ほぼ横ばいで予想
)、ほぼ横ばいで予想
量付金他
出金繰出基準による (企業債償還元金)
る起債
·瀬橋架替関連配水管布設

# 宮ヶ瀬橋架替えに伴う水道管布設替え配管平面図

